



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東  
コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 (TEL) 03-6362-1300  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,501	△9.9	△279	—	△264	—	△187	—
2023年3月期第2四半期	8,329	6.5	8	△98.1	22	△95.1	△25	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △187百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 △13.58	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	円 銭 △1.85	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第2四半期	百万円 9,005	百万円 4,736	% 48.4	円 銭 313.39
2023年3月期	百万円 8,072	百万円 4,858	% 55.4	円 銭 327.41

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,355百万円 2023年3月期 4,474百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00			
2024年3月期(予想)			円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,400	△3.1	△200	—	△190	—	△320	—	△23.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	14,103,600株	2023年3月期	13,960,900株
2024年3月期2Q	206,362株	2023年3月期	295,979株
2024年3月期2Q	13,774,018株	2023年3月期2Q	13,598,258株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年11月9日（木）に機関投資家・アナリスト向けにオンラインにて決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で使用する説明会資料は、決算発表後、また、動画配信、質疑応答等については決算説明会開催後、速やかに当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことで、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続いております。一方、長引くウクライナ情勢の緊迫、資源価格の高騰やインフレ率の上昇に伴う世界的な金融引き締め政策の継続による海外経済の減速、金融資本市場の変動や物価上昇、国内金融政策の動向等による国内景気への影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「AllAbout」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,501百万円(前年同四半期比9.9%減)、営業損失は279百万円(前年同四半期は営業利益8百万円)、経常損失は264百万円(前年同四半期は経常利益22百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は187百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失25百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

## (マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間において、検索エンジンのロジック変更等によるメディアセッション数の減少や、広告市況の悪化に伴うインターネット広告単価の低下等により、メディア売上が減少いたしました。また、費用面に関しては、コンテンツマーケティングプラットフォーム「PrimeAd」の開発費用など戦略投資が増加したことなどにより、前年同四半期比で減収減益となりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は798百万円(前年同四半期比24.7%減)、セグメント損失は227百万円(前年同四半期はセグメント損失46百万円)となりました。

## (コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、dショッピング事業が堅調に推移し成長を継続している一方、サンプル百貨店において、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和に伴うリアル回帰や今年の夏場の猛暑により、飲料を始めとする商品調達に不足し、販売機会損失が発生したことなどで売上が減少いたしました。また、費用面ではd払いネットショッピングやふるさと納税百選の開発投資を行ったことなどにより、前年同四半期比減収減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は6,702百万円(前年同四半期比7.8%減)、セグメント利益は172百万円(前年同四半期比45.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ781百万円増加いたしました。これは主に売掛金が784百万円減少した一方、現金及び預金が430百万円、未収入金が1,042百万円、商品及び製品が82百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が104百万円、繰延税金資産が73百万円増加した一方、ソフトウェアが19百万円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,053百万円増加いたしました。これは主に未払金が1,173百万円、未払費用が47百万円、未払消費税等が29百万円、預り金が67百万円増加した一方、買掛金が284百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は123百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が2百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ29百万円増加した一方で、40百万円の配当実施により資本剰余金が40百万円、自己株式処分差損の計上により93百万円、自己株式の処分により自己株式が139百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失を187百万円計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想の数値から修正を行っております。詳細につきましては、本日(2023年11月9日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,900,791	2,331,134
売掛金	2,021,413	1,236,958
未収入金	1,553,594	2,595,708
商品及び製品	287,320	340,585
未成制作費	15,475	45,192
前払費用	88,480	95,663
その他	18,002	16,831
貸倒引当金	△6,070	△1,945
流動資産合計	5,879,008	6,660,128
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△37,273	△47,690
建物(純額)	224,336	213,919
工具、器具及び備品	86,309	86,309
減価償却累計額	△48,715	△53,930
工具、器具及び備品(純額)	37,594	32,378
有形固定資産合計	261,930	246,298
無形固定資産		
のれん	7,172	5,683
ソフトウェア	996,201	977,048
ソフトウェア仮勘定	83,554	75,511
その他	522	522
無形固定資産合計	1,087,451	1,058,766
投資その他の資産		
投資有価証券	400,050	505,016
関係会社株式	66,318	73,497
破産更生債権等	15,938	15,938
差入保証金	305,037	309,370
繰延税金資産	40,260	113,614
その他	32,859	39,304
貸倒引当金	△15,938	△15,938
投資その他の資産合計	844,526	1,040,803
固定資産合計	2,193,908	2,345,867
資産合計	8,072,916	9,005,995

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,063,731	778,958
未払金	1,501,312	2,674,837
未払費用	373,272	421,039
未払法人税等	23,428	9,198
未払消費税等	7,662	36,904
前受金	77,569	104,930
預り金	30,397	97,592
賞与引当金	2,700	310
その他	12,783	22,347
流動負債合計	3,092,858	4,146,119
固定負債		
退職給付に係る負債	46,494	49,270
資産除去債務	74,350	74,350
その他	319	—
固定負債合計	121,163	123,620
負債合計	3,214,021	4,269,739
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,288,720	1,318,616
資本剰余金	2,153,747	2,049,088
利益剰余金	1,493,499	1,306,453
自己株式	△460,890	△321,356
株主資本合計	4,475,077	4,352,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,024	2,515
その他の包括利益累計額合計	△1,024	2,515
新株予約権	6,323	6,130
非支配株主持分	378,519	374,809
純資産合計	4,858,894	4,736,256
負債純資産合計	8,072,916	9,005,995

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,329,897	7,501,277
売上原価	3,501,929	3,138,754
売上総利益	4,827,968	4,362,523
販売費及び一般管理費	4,819,473	4,641,593
営業利益又は営業損失(△)	8,495	△279,070
営業外収益		
受取利息	826	784
受取配当金	5,500	2,500
持分法による投資利益	1,181	7,179
投資有価証券評価益	553	769
助成金収入	5,976	—
その他	1,705	4,348
営業外収益合計	15,743	15,581
営業外費用		
投資有価証券評価損	865	616
その他	1,361	235
営業外費用合計	2,226	852
経常利益又は経常損失(△)	22,012	△264,341
特別利益		
新株予約権戻入益	—	50
特別利益合計	—	50
特別損失		
固定資産除却損	81	—
減損損失	596	—
特別損失合計	678	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	21,333	△264,290
法人税等	43,739	△73,535
四半期純損失(△)	△22,406	△190,755
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,797	△3,709
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△25,203	△187,045



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△22,406	△190,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,286	3,539
その他の包括利益合計	△5,286	3,539
四半期包括利益	△27,692	△187,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,490	△183,505
非支配株主に係る四半期包括利益	2,797	△3,709

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月11日 取締役会	普通株式	95,002	7.0	2022年3月31日	2022年6月13日	利益剰余金

## 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3 株主資本の金額の著しい変動

2022年6月28日開催の定時株主総会の決議により、2022年8月1日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を1,200,000千円減少し、同額をその他資本剰余金へ振替えております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月10日 取締役会	普通株式	40,994	3.0	2023年3月31日	2023年6月13日	資本剰余金

## 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算していません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	1,060,744	7,269,153	8,329,897	—	8,329,897
外部顧客への売上高	1,060,744	7,269,153	8,329,897	—	8,329,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,844	2,212	31,056	△31,056	—
計	1,089,588	7,271,365	8,360,954	△31,056	8,329,897
セグメント利益又は損 失(△)	△46,848	315,004	268,156	△259,660	8,495

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△259,660千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	798,930	6,702,347	7,501,277	—	7,501,277
外部顧客への売上高	798,930	6,702,347	7,501,277	—	7,501,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,512	610	31,122	△31,122	—
計	829,443	6,702,957	7,532,400	△31,122	7,501,277
セグメント利益又は損 失(△)	△227,646	172,727	△54,918	△224,151	△279,070

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△224,151千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。